

令和4年度第1回東郷町総合教育会議会議録

1 日 時

令和4年9月27日（火） 午後 4時00分 開会

午後 5時25分 閉会

2 場 所

東郷町役場2階 第4会議室

3 出 席 者

町 長 井俣 憲治

教育長職務代理者 小出 直美

委 員 奥谷 美香

委 員 石田 守良

委 員 加藤 逸男

4 欠席委員

教 育 長 中根 一郎

5 事 務 局

企 画 部 長 : 加藤 久登

企画情報課長 : 木本 清彦

6 説明のため出席した職員の氏名

教 育 部 長 : 樋口 美紀

教 育 参 事 : 田中 秀和

学校教育課長 : 成田 敏弘

生涯学習課長 : 村中 章太

給食センター所長 : 中嶋 章人

7 傍聴者

なし

1 町長あいさつ

教育にかかる状況としては、設備更新の国の補正予算が今から上がる。国の補正予算が決まった際に、本町のトイレの様式化を進めていきたいと考えている。

本来、当初予算で実施すべきものであるものが、国の対応に応じて補正予算で実施という形となっている。

昨年度は、春木台小学校、春木台中学校のトイレの洋式化の二つを提出し、二つとも採択いただいた。

引き続き、子どもたちが利用するトイレについての洋式化は進めていきたい。

また、老朽化している施設なので、子どもたちの学びの場をしっかりと維持しながら、しっかりとした教育を行っていただきたいと思っている。

教育委員の皆様には、町長選挙以降初めてお会いすると思うが、公約で挙げた「少人数学級」及び「少人数授業」、特に来年度から小学校全学年35人学級を目指し、また、再来年度から小学校全学年30人学級目指すので、教育委員会の方には、教員の確保と教室の整備をお願いしている。

一期目任期の際にエアコンの整備をしたが、35人学級を見据えて整備をしたので、エアコンの数については問題ない。

本日は、諸輪中学校がコロナウイルスで学級閉鎖という状況。コロナウイルスによって子どもたちが本来学べる、体験できる、体験してほしいことがなかなか得られていない部分がある。

甲子園で優勝した仙台育英高校の監督が素晴らしい優勝スピーチをしていた。

「青春は密」であると。密の中で切磋琢磨したり仲間を作ったりと、素晴らしいスピーチがあったが、私たちは健康を守るという名の下、青春の部分を子どもたちに提供できていないかもしれないと思う。一方で健康や命の大切さを理解してもらうという大切な作業を学校の先生をお願いしているところだが、子どもたちのためにしっかりとやっていただきたいと思う。

本日は、委員の皆様からは忌憚のない意見をいただきたい。

2 協議事項「新しいステージを拓く東郷町のまちづくり（教育分野）について」 （資料：第2次東郷町教育大綱、1－1、1－2、1－3）【教育委員会説明】 【委員】

少人数学級は、単純に学力向上ではなく、目的や目標を何に置くかなど、もう少し具体的にしてほしい。

少人数にした結果を現状と比較することにより、町長がやりたいことの本質が見えてくる。

人数が減って学力が上がるのも良いが、その子が本当に良い子なのか。学力に長けた子も良いと思うが、その子が良い子かどうか、どんな子が良い子かどうか

先生や教育委員会含めて考えていかなければいけない。

また、学力向上という言葉に違和感がある。

今後、色々な指標で比較できるとよい。

【町長】

毎年子どもが変わるので、比較するのは難しいのではないか。

【委員】

中央値などなにかしらのデータを示してほしい。少人数学級に投資したのだから結果を確認するのは我々の責務だと思う。

【町長】

社会に貢献する子となってほしい。子ども一人一人の良さを吸い上げる環境の整備が主たる目標。そこから出てくる子どもに期待したい。また、人との密度の濃い教育を作り上げてほしい。そして、そういったことをリードできる教員の方に期待したい。

【委員】

子どもは時を長く感じている。歳を取ると短く感じる。いかに時を長く感じている子どもたちの学びの手助けができるか。

3 教職員の在校時間（時間外勤務）について

（資料：2－1、2－2）【教育委員会説明】

【委員】

時間外が減少傾向にあるが、なかなか明確な理由がわからない。

時間外の削減の意識付けをしているということでよいか。

【教育参事】

校長会で確認し、教員へワークライフバランスをしっかりと伝えるよう伝えている。

【町長】

100時間以上の残業をしている教員のクラスはどうか。まったく残業しない教員のクラスはどうか。子どもたちや保護者にとってどうかといったところも重要。

しっかりした成果を上げているのか意識する必要がある。また、仕事の精査も必要。

今の方法では、人を雇うしか解決方法がないので、工夫していただきたい。
先生方はどれだけ子どもに向かっている時間があるかが非常に重要。

【委員】

資料には先生たちはストレスを感じていると記載がある。ストレスを感じない仕事はないが、もう少し状況分析をしてほしい。

分析をし、業務分担の見直しなどもしてほしい。

【教育参事】

色々な先生がいて、各先生の能力もある。各学校の校長先生がしっかり見て、評価するしかないと思っている。

ただ、一昔前よりはだいぶ時間外は減っている。更にスクラップアンドビルドをできればと思っている。

【町長】

先生の体調、家庭事情など色々あると思う。学校のパフォーマンスを上げるためにメンタルを含め色々なケアをしていただきたい。

併せて成果も重要。成果指標が多くあるため、大変だとは思いますが、しっかりお願いしたい。また、地域の協力も必要。

先生の力量によって差が出てしまっているはいけない。切磋琢磨してスキルを磨いてほしい。

特色のある未来を見据えた教育をしていただければと思う。

【委員】

トイレ改修については、学校ごとに差がある。仕方ないと思うので、計画どおり進めていただきたい。

また、先の見えない世の中ではあるが、子供たちの未来のために尽力いただきたい。

【町長】

子どもの夢は変わっていく。夢に向かっていくために、一定程度の学力プラス努力ができることが必要。教員にはコツコツやっていくことの尊さを教えてほしい。

また、正しい方向へ努力するように導いていただきたい。

【委員】

子ども達が「夢がない、絶望しかない」と言っている情報もある。ネットの情

報が色々あり過ぎてそのように思っているのではないかと思う。

ただ、子ども達は好きなことを持っている。好きなことが将来どうなるかわからないが、好きなことがあることは救い。学校だけの話ではないが、子ども達のやりたいこと実現させられるような社会となればよいと思う。

【町長】

子どもへ色々体験させてあげられる家庭もある一方、子どもがヤングケアラーとなっている家庭もある。なかなか発見が難しいが、教育部等力を合わせて発見していかなければならない。

子どもへの体験については、町のイベントでできる限り体験させてあげたい。

また、ネットの情報をすべて受け入れないような教育を学校でしていけたらいいと思う。ネットの情報に若者が振り回され過ぎている。

【委員】

将来について曖昧な子どもが多い。しっかり自分がやりたいことを見つけられる子どもを育ててほしい。

【委員】

部活動について、他市町では一般の方に指導してもらっている。

東郷町でもできないか。

一般の方に指導してもらっている市町の方が実力がある。

【町長】

夕方時間が空いている方となると年配の方が多いと思う。

その方の現役のころと現在の部活では、教え方が違う。現在の方法を覚えていただいて教えていただかなくてはならない。

また、ボランティアだけでは難しいと思う。ある程度教えるプロの方を入れていくことを選択肢に入れなければならないと思う。

部活についてはクラブチームもある。部活しかないわけではなく、色々な選択肢がある時代。

教員の負担軽減もあるが、学校に外部の方を入れる難しさもある。簡単に答えが出るものではないと思うので、学校や教育委員会で考えていかなければならない。

【委員】

東郷町も外国の方が増えている。

【町長】

東郷町で一番多いのがベトナムの方。各保育園にポケトークを配置しており、意思疎通は問題ないと聞いている。各学校にもポケトークを配置している。

【教育参事】

親が日本語を話せない場合、電話連絡する際などに苦慮していると聞いている。その時は、ベトナム語ができる方を呼んで解決した。